

カムイワッカ地区の利用状況について

(2021年度 カムイワッカ地区利用適正化対策現地管理連絡調整業務 報告書 抜粋)

平成11年(1999年)度以降、カムイワッカ地区では自然環境の保全と快適な利用環境の確保を目的としたマイカー規制を継続して実施している。本業務は、自動車利用適正化対策の円滑な実施と現地状況の適切な把握を目的とし、カムイワッカ地区とそこに至る道路沿線においてマイカー規制の現地運用や関係諸機関との連絡調整等を行うものである。

1. 今年度の全体日程(表1)

1-1 カムイワッカ地区の供用期間

6月1日11:00に知床五湖ゲートの冬季通行止めが解除され、カムイワッカ地区へのアクセスが可能となり、10月3日より冬期閉鎖となった。

1-2 現地管理等の人員配置

カムイワッカ地区の監視員は、6月21日から10月3日まで配置された。また、過年度と同様に、マイカー規制期間には、知床自然センター駐車場及び知床五湖駐車場、知床五湖ゲートに警備員を配置した。加えて10月のマイカー規制期間には、幌別ゲートへ警備員を配置した。自由利用期間における混雑日(7月及び9月の連休期間)は、協議会構成団体の出役によってカムイワッカでの交通誘導を実施した。

表1 カムイワッカ地区の全体日程

	6月	7月	8月	9月	10月
全体日程	6/1		8/7 8/16		10/1~10/3
	自由利用期間		マイカー規制期間	自由利用期間	マイカー規制期間
	道路特例使用				10/3 →
カムイワッカ地区監視員配置	6/21	7/20			10/3
	知床財団出役期間				
知床自然センター警備員配置			8/7 8/16		10/1~10/3
知床五湖警備員配置			8/7 8/16		
道の駅警備員配置					10/1~10/3

1-3 昨年度からの変更点

（1） 一の滝以奥の利用再開を目指した試行事業の実施

落石の影響で2006年から利用自粛が継続していた一の滝上流部について、15年ぶりに利用を再開する試行事業が実施された。

（2） 道路開通期間の短縮

カムイワッカ橋右岸駐車帯上部の落石防護柵の補修工事が行われるため、カムイワッカに至る知床五湖ゲートが例年より約1か月早い10月3日に閉鎖された。

（3） 登山道特例期間の変更

硫黄山登山道に至る道道の特例使用特例期間が、道路の開通期間と同様となり、実質的な延長となった。今年度は6月1日から10月3日までの期間となった。

2. 現地状況の把握

2-1 トラブル、事故等の報告

(1) 湯の滝地区

湯の滝地区においてトラブル等は8件報告された（表2）。怪我が2件、落石が2件、ドローン使用への注意が3件、車両トラブルが1件となっている。また、増水、ヒグマ出没による湯の滝エリアの閉鎖が1件ずつ発生した。また、規制ラインより上流に侵入した利用者が4名報告された。

表2 湯の滝地区におけるトラブルの発生状況

日付	内容	照会先
6月27日	湯の滝内で一般利用者が転んで怪我。自然センターで消毒し、絆創膏を渡して対応。	自然センター
7月9日	14時頃に一の滝手前で比較的大きなサイズの落石が発生。	自然センター
7月11日	湯の滝入り口付近でドローンを飛ばそうとしている人がいたため注意。	監視員日報
7月16日	湯の滝入り口付近でドローンを飛ばそうとしている人がいたため注意。	監視員日報
7月19日	一般利用者がバイクのシート内に鍵を閉じ込め、バイクを動かせなくなったと自然センターに通報。利用者自身がJAFを呼び対処。	自然センター
8月16日	カムイワッカゲート前で落石発生。登山者用の道路使用申請書記載台付近に簡易的な立ち入り禁止バリケードを設置。	監視員日報
8月22日	カムイワッカ駐車場から大型のドローンを飛ばしている一般利用者あり。	監視員日報
10月2日	一般利用者が湯の滝内で転んで頭を打ち、病院の所在を確認するため自然センターに来館。斜里国保病院を案内。	自然センター

(2) 道道地区

五湖ゲートからカムイワッカまでの道道でのトラブルは、7件報告された。内6件が交通事故である。いずれも物損事故であった。荒天による道路通行止めが1日(8/11)発生した。

(3) 登山道地区

硫黄山登山道において遭難事故が4件発生した（表3）。いずれも救助要請があり、斜里警察署、斜里消防組合ウトロ分署が出動している。本年は全国的に登山者関連の事故が多い年でもあり、知床地区では7月に集中した。

表3 登山道地区におけるトラブルの発生状況

日付	内容	照会先
7月5日	硫黄山にて登山者が滑落。パーティーメンバーと一緒に硫黄山登山口付近まで下山し警察と合流。背負い搬送により救助。	斜里警察署 ウトロ駐在所
7月5日	日帰り登山の老夫婦が疲労困憊で下山できず、警察の背負い搬送により救助。	斜里警察署 ウトロ駐在所
7月20日	硫黄山にて登山者が前日に転倒し、右脇腹を負傷。自力でオッカバケ岳まで移動したが先は歩けず、防災ヘリによるピックアップ救助。	斜里消防組合 ウトロ分署
7月24日	登山者が第一火口付近で骨折。防災ヘリによるピックアップ救助。	斜里消防組合 ウトロ分署

2-2 ヒグマ出没状況

カムイワッカ地区での目撃件数は66件と、昨年度の52件よりも増加した(図1)。いずれも目撃のみの事例にとどまり、危険事例へつなげたケースはない。また、ヒグマを原因とする湯の滝の閉鎖が7月22日に発生している。

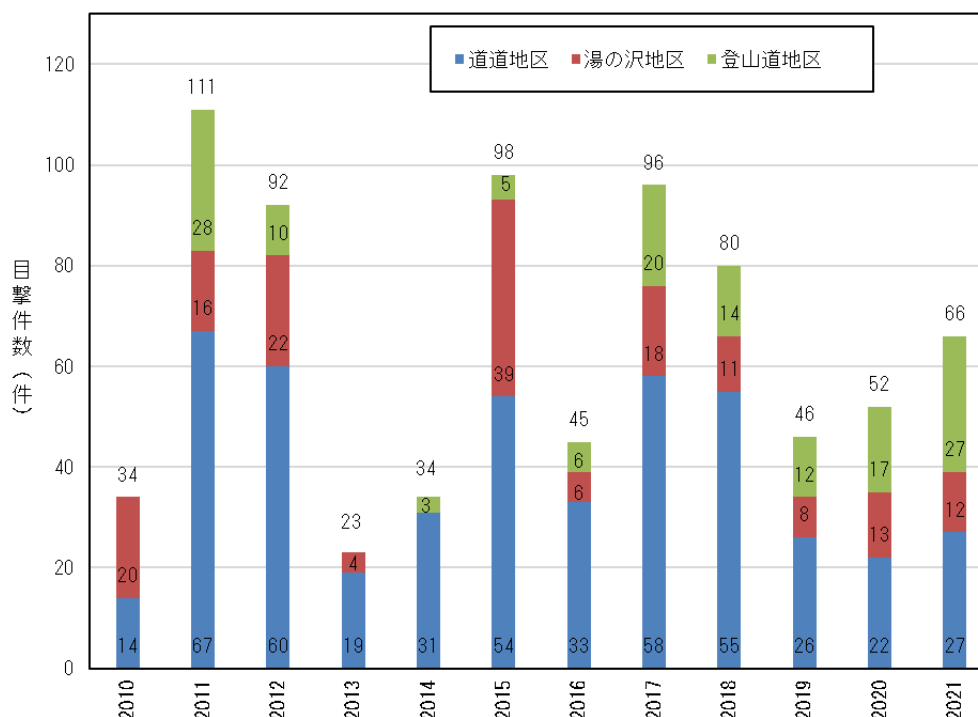


図1 地区別のヒグマ目撃件数の年度推移

2-3 混雑状況

(1) 湯の滝地区の利用者数

カムイワッカ湯の滝利用者数の推移を現したグラフを示す(図2)。利用者数の最大は7月23日の1,490名であった。期間を通じて湯の滝に立ち入りができなくなるほどの混雑は発生していない。

(2) 湯の滝地区駐車帯の混雑状況

駐車場が満車状態から渋滞発生にまで発展したのは、7月4連休のうちの3日間であった。うち、7月23日については、登山者専用駐車場を利用する者や、途中で車を降りて湯の滝へ向かう者も見られた。

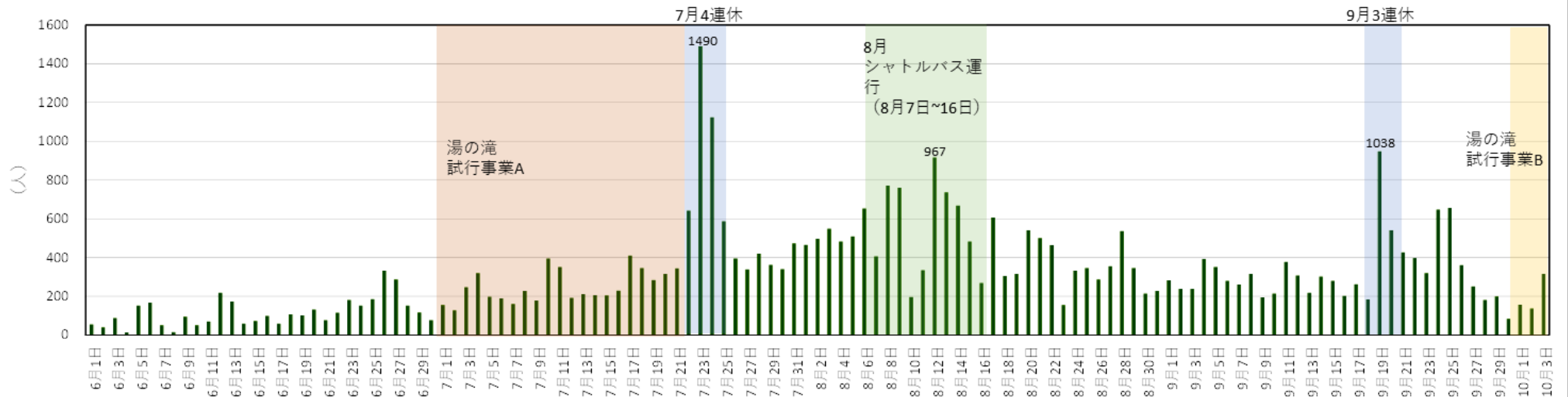


図2 湯の滝地区の利用者数